

クラスの様子（2月号）

● ひよこ組

今月の目標：一人ひとりの体調に十分配慮しながら、それぞれの発達に合った関わりをしていく
暖かい日は戸外へ出たり、部屋でふれあい遊びや手遊び、探索活動を楽しんでいます。その中で、月齢の高い子が、月齢の低い子の頭を優しくなでたり、保育士の膝の上にお友達と乗り、揺さぶり遊びを楽しんでいます。『○○ちゃんかわいいね。△△ちゃんもかわいいね。』『楽しいね〜』と保育士も一緒に楽しみ触れ合うことで、人と関わることの心地よさを十分感じていけるようにしたいと思います。
1月から新しいお友達（かとう りんかちゃん）が入りました。 （中村）

● りす組 今月の目標：楽しみながら色々なことを経験できるようにする。



一月は室内で旗作りをしたり、節分の鬼の面の製作をしました。今までの経験の積み重ねからかクレヨンの握り方、また絵具の塗り方もとても上手になりました。製作が苦手だった子も回数を重ねていくにつれ楽しそうにする姿が見られるようになり「早くしたい」「もっとする」と自分達から参加するようになりました。

また天気の良い日には、戸外に散歩に行き冬の自然に触れ合っています。段々と子ども達も体力がつき長い距離を歩けるようになってきました。すれ違う人に「こんにちは」と元気に挨拶をしたり、鳥の鳴き声を聞いたり外は子ども達にとって刺激になるものがたくさんあり、五感をフルに使っています。地域の方たちとの関わりや冬の季節ならではの気づきを大切にしながら、散歩や活動を通して色々な経験ができるようにしていきたいと思います。 （三鬼）

● うさぎ組 今月の目標：おゆうぎ会の練習を楽しんで取り組む

年も明け、子どもたちも元気に登園しお正月遊びをしたり、2月にあるおゆうぎ会に向けて練習に取り組んでいます。子どもたちは、大好きな動物になりきってグループに分かれてセリフを言ったり、ダンスをしたりと楽しみながらしています。また異年齢クラスへの移行に向けて、少人数ずつ大きいお兄ちゃんやお姉ちゃん達と一緒に給食を食べたり、関わる時間を増やしています。無理なく環境に馴染んでいけるよう少しずつ進めていければと思っています。体調を崩しやすい時季なので、体調管理にも気を付けていきたいと思っています。 （伊藤・矢下）



クラスの様子(2月号)

さくら組

今月の目標：ひとつの目標に向けてみんなで協力し、達成することの喜びを感じる。

2015年もうれい月が経ちました。今、子ども達はおゆうぎ会に向け、毎日練習しています。さくらぐみは「ミュージカル・エビカニクス」をします。練習では、年長、年中さんが、年少さんに立ち位置を教えたり、かけ声をかけてくれたりと、引っ張っていってくれる姿があります。お兄ちゃん、お姉ちゃんがいることで、年少さんも安心し、自信をもって、踊ったり、セリフを言うことができているように思います。また、「上手！」「かっこいい！」と褒めると、子ども達はニコッと、とても嬉しそうにし、次はもっと上手にできるようになります。”褒める”ことは、子どもたちの自信につながる、大切なことです。少しでもできたことや良いところを探して、”褒め”、子どもたちに自信をつけさせてあげることが、私達大人の役目なんだと、改めて感じました。

(黒宮)



くぬぎ組

今月の目標：友だちと一緒に目的に向かって取り組むことで達成感を持つ。

子ども達はお正月の出来事や、どの様に過ごしたのかを発表しました。

おじいちゃん、おばあちゃんの家に行ったり、お年玉をもらったり、おせちを食べたと嬉しそうな表情で発表してくれました。

おゆうぎ会の練習では始めのうちは、セリフを言うのが恥ずかしくて、照れてしまったりしましたが、回を重ねるごとに堂々と大きな声で言えるようになってきました。年長児、年中児が年少児に優しく教えたり、リードする姿がとてもほほえましく、また嬉しく思います。くぬぎ組みんなで取り組んでいる劇、あったかい劇が観ていただけるように頑張っていきたいと思います。(山本)

とちのき組

今月の目標：ひとつの目標に向かって努力し、協力する楽しさを味わう。

進級に向け、お兄ちゃん、お姉ちゃんになるという意識を持てるようにしていく。

長い冬休みも明け、今年に入ってから子ども達は元気いっぱい毎日の生活を楽しむ姿が見られ、戸外遊びでも室内遊びでも、自分の好きな遊びをしっかりと選択しています。

また、1月は本格的に「おゆうぎ会」に向けての練習に取り組み、ホールで本番と同じように衣装を着たり、小道具を使って練習を行っていくうちに子ども達も本番に対する思いがどんどんと高まってきているように感じられました。本番では練習と同じように元気いっぱい演じられる子、緊張して少し恥ずかしそうになってしまう子、様々な姿があると思いますが子ども達は一人ひとり精一杯がんばってくれると思いますので、保護者の皆さまもぜひ楽しみにしててください。そして、おゆうぎ会が終わった際には思いっきり子ども達を褒めてあげてほしいと思います。

(安田)

